

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9

TEL: 03-3259-3111(代表)

www.ms-ins.com

2021年7月14日

## Synamonとの協業によるVRを活用した家屋損害調査研修を開始

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、株式会社Synamon（代表取締役：武樋 恒）と協業し、2021年7月からVR※を活用した家屋の損害調査研修を新たに開始します。

このVR研修では、地震被害を受けた家屋をバーチャル空間に構築し、損害状態の確認や調査手法を疑似体験することができます。いつでもどこからでも参加可能な利点を活かし、大規模災害の発生に備えて、調査要員の増強やお客さま対応品質の強化に活用していきます。

今後、自治体や団体等を含め、業界内外で広く共同利用することも検討していきます。

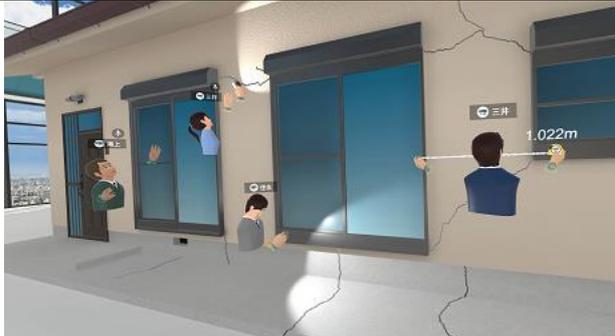
三井住友海上は、今後も、社会課題をDXの力で解決し、SDGsを道しるべとした共通価値の創造を実現していきます。

※Virtual Reality（仮想現実）の略

### 1. VR研修の概要

研修参加者は職場や自宅でVR端末を着用し、アバターとなってバーチャル空間で研修を受講します。バーチャル空間には「屋根や外壁に損傷を受けた家屋」「和室」「洋室」が設置されており、参加者は建物の外観や室内の損傷確認や、カメラやメジャー等を用いた調査を疑似体験することができます。地震で被害を受けた家屋の調査ポイントのほか、建築構造等の基礎知識についても一度に学習できるため、リモートでも効率的に実地研修と同等以上の高い学習効果を期待できます。また、全国の社員を対象とした定期的なトレーニングに加え、大規模災害が発生した場合に、時間や場所の制約を受けず開催できるため、災害規模に応じた要員の確保と調査品質の向上が可能となります。今後、台風等の風災・水災時の研修にも活用を検討していきます。また、当社の先行実施を踏まえ、あいおいニッセイ同和損保でも今後導入を検討し、グループ全体でさらなるお客さま体験価値の向上に努めていきます。

### <研修環境イメージ>

<p><b>①画像や動画を用いての学習</b></p>  <p>バーチャル環境で資料投影による座学の研修を行うことができます。</p>	<p><b>②外壁の損害確認</b></p>  <p>被害箇所にメジャーをあてて実測することができます。</p>
<p><b>③和室の損害調査</b></p>  <p>1間や1坪等、日本固有のサイズ感をイメージすることができます。</p>	<p><b>④洋室の損害調査</b></p>  <p>フローリングやクロス等に生じやすい、ひび割れやキズを確認します。</p>

<想定している主な研修内容>

- ・地震保険の損害認定演習
- ・損傷確認・記録のための写真撮影手法の習得（バーチャル空間内のカメラ撮影機能を使用）
- ・建物構造、部位名称など、建築の基礎知識習得
- ・屋根損害の態様と、その修復方法の習得

など

## 2. 背景

近年、地震や台風等の自然災害が激甚化・頻発化しています。また、首都直下型地震や南海トラフ地震などの地震災害のほか、気候変動の影響による大規模水災害の発生が見込まれるなど、これまでにない数の家屋被害が想定され、損害調査体制のさらなる強化が必要です。

一方、調査員への教育研修に被害家屋を用いることは困難であることや、従来の実地研修では限られた人数しか参加できないといった課題がありました。

こうした中、当社は、Synamonが提供するVRビジネス施設「NEUTRANS」を活用し、リモートでも家屋の損害調査手法を学習できるVR研修を開発しました。

### (ご参考)

#### ■株式会社Synamon

Synamonは「XRが当たり前の世界」を実現するため、VR/ARをはじめとするXR技術を使ったサービス開発や研究開発を行うテックカンパニーです。

自社開発しているVRイノベーションタワー「NEUTRANS」は、VR技術の活用によって、バーチャル空間であらゆるビジネス活動を可能にするVRビジネス施設です。世界中どこからでも働けるオフィス、リモートでもリアルのような体験を可能にするトレーニングや開発予定の未来都市を見学できるプロモーションなど、バーチャル空間を活用した次世代事業の創出拠点を目指します。

会社名	株式会社Synamon
設立日	2016年8月
本社所在地	東京都品川区西五反田7丁目22-17
代表者	武樋 恒
事業内容	VR/AR/MRプロダクトの企画・開発、XR技術の研究開発

以上